

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の
問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2016 年 1 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日の期間に当院にて遠隔転移を伴う大腸癌と診断され、治療を受けた患者さん			
② 研究課題名	遠隔転移を伴う大腸癌の治療成績			
③ 実施予定期間	2025 年 7 月 ～ 2027 年 3 月			
④ 実施機関	国立病院機構呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	嶋田徳光	所属	呉医療センター 外科
⑥ 当院の研究責任者	氏名	嶋田徳光	所属	呉医療センター 外科
⑦ 使用する情報・試料	収集する診療情報は下記の通りです。 消化管疾患に関する罹患、手術や化学放射線療法などの治療内容、術前の腸管処置、病理学的検査結果、治療のための遺伝子解析結果(KRAS 変異、BRAF 変異、MSI 検査、UGT1A1 遺伝子多型検査など、年齢、性別、身体情報、家族歴、生活歴、内服歴、既往歴、血液生化学検査(血算、CRP、肝機能、腎機能、電解質、腫瘍マーカー、血清アルブミン、血清蛋白、凝固系)、尿検査、便培養(腸内細菌叢)、各種培養検査結果、肺機能、心電図、再発、生存の有無、超音波検査、CT、PET-CT、MRI、X 線、注腸造影検査、内視鏡検査、肛門内圧検査の診断結果、術前の治療歴、周術期管理情報、原疾患に関連する他臓器合併疾患情報 ※上記診療情報は、研究終了後 5 年間もしくは、研究結果の公表後 3 年間のいずれか長い期間まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 診療情報は研究担当者によって保管されます。			
⑧ 目的	遠隔転移を伴う大腸癌では根治切除を得られた症例では予後が良いとされています。しかし根治切除術の適応や化学療法と切除の時期など明らかになっていません。そのため、当院での症例を後方視的に検討し、遠隔転移を伴う大腸癌治療の妥当性を検証します。			
⑨ 方法	当院で大腸癌手術を受けた患者さんを対象として、⑦に記載の診療録のデータを用いて周術期合併症等の短期成績及び長期成績(無再発生存率、生存率)を後方視的に調査します。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日		2025 年 8 月 6 日	
	院長承認日		2025 年 8 月 6 日	
⑪公表	個人情報保護はしたうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮問い合わせ	連絡先	嶋田 徳光	電話	0823-22-3111(代表)
	国立病院機構呉医療センター 外科			

呉医療センター院長